

# よしぶえ

○編集  
淀川河川公園広報委員会  
○事務局  
〒570 守口市外島町4-18  
☎06-994-0006  
(財) 河川環境管理財団

広々とした緑と噴水あざやか。アクアシアターも堂々完成！

## 枚方地区・オープニングイベント楽しく開催

これまでにない水辺の大型レクリエーションゾーンとして、開園が待ち望まれていた淀川河川公園・枚方地区が、いよいよ一部オープンしました。既報のように同地区は、なみはや国体のカヌー競技会場にもなり、スポーツや文化イベントなど、親水性豊かな新時代のレクリエーションゾーンとして、各方面から注目されています。7月18日(金)のオープン式典、翌19・20日の2日間にわたるオープニングイベントには、関係者ほか多数の人々が参加。楽しいひとときを過ごしました。

園内は季節の花が咲きみだれる



水の表情がときつきに変わる噴水

大人を呼びあげて民族楽器ケーナを体験するコーナーもあり、参加者は南米音楽の夕暮れライブを心ゆくまで楽しみました。第3部は、レーザー光線による幻想的なパターンが会場に浮かびあがる美しいショーで締めくくられ、オープニングイベントの初日が終了しました。

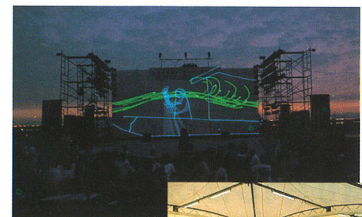


子供達に人気の「ピーロポカブタック・ショー」

## 淀川がよくわかる パネル展示にも人気

また、翌7月20日(日)にも19日と同じく、多数の来園者の参加のもとに午後5時から3部構成のイベントが開催されました。第1部は「キューティーハニーフラッシュ・ショー」と記念撮影会、第2部は「瀬田貴将・スーパーコンサート」、第3部は「淀川リバーサイドレーザーファンタジア」が上演され、2日間の日程を終了しました。

なお、会場の巨大テント内には、淀川の自然や河川公園についてよくわかるパネルが展示されており、オープニングに参加した親子が熱心に見学している姿が見られました。



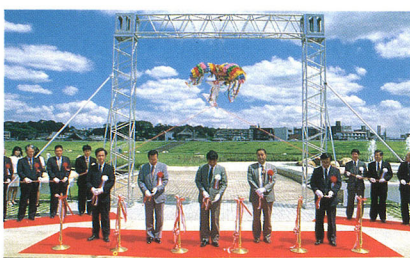
レーザー光線によるショー



パネル展示コーナー

## 家族連れで賑わった 水辺のショーイベント

快晴の7月18日(金)、枚方地区のオープン式典は、完成した淀川アクアシアター横の巨大テント内で午後1時から開催。関係者の式辞・報告の後、噴水広場でのテープカットでくす玉が割られ終了。翌19日夕方5時から、3部構成のオープニングイベントが、多数の家族連れの参加のもとに賑やかに開催されました。



開園式典テープカット



美しい夕焼けをバックに民族音楽が演奏された

第1部は、人気の「ピーロポカブタック・ショー」。ちびっ子たちは、悪者をやっつける主人公の活躍と変身に歓声をあげ、ピーロポカブタックとの握手や記念撮影にも大喜びでした。

第2部は一転して大人っぽく、60分のライブショー「プカソコ・オンステージ」。ペルー・アンデスの民族衣装を着た出演者が奏でる本場の陽気なリズムに、客席の人々も思わず聞き入っていました。また、途中でステージ上に子供・

## 淀川を望む新設のアクアシアターでセレモニー 枚方地区で「なみはや国体」 カヌー競技開催

この夏オープンした淀川河川公園・枚方地区で、9月13日(土)から、「なみはや国体(第52回国体)」夏期大会カヌー競技が行われました。国体では、流水で行うスラローム競技(カヌーを使った回転競技)、ワイルドウォーター一競技(流れを一気に漕ぎ下る速さを競う競技)の2種目を都市型カヌー競技と定め、淀川・天野川合流地点～枚方大橋間が特設会場に選ばれました。競技は4日間の予定でしたが台風の影響で3日間に短縮され、30都道府県の代表選手男女340人が雄大な緑の水辺で熱戦をくり広げました。



カヌー競技が行われた枚方地区

### 未来の水辺を思わせるスポーツイベント

開始式が行われた13日は朝から快晴。完成したアクアシアターには早くから多くの地域の人々が詰めかけました。午前10時から始まった歓迎セレモニーは、2サークルの太鼓、地元幼稚園児のぬいぐるみとの遊戯、チャリダーの元気あふれる演目などで、会場は歓声と拍手に包まれました。続いて全国30チームの選手団の入場、淀川のパネル展示コーナー



淀川のパネル展示コーナー

トロフィー返還、選手宣誓などで式典は終了、休憩時には高校生の合同演奏もあり、午後12時からデモンストレーションの後競技に入りました。競技は、各チームの監督コーチが水辺を走りながら叫ぶなど熱戦を展開。

午後2時過ぎには秋篠宮殿下・妃殿下ご夫妻も来場され、楽しい一日となりました。



アクアシアターを埋めつくした観客と選手団

ワイルドウォーター500mに参加した選手



太鼓のほか、いくつものイベントが行われた

### 恒例の前半イベント次々開催

平成9年前半の淀川河川公園のイベントは予定通り各地区で開催。3月～5月・9月～10月の春季・秋季野球大会は海老江地区他で、春の緑化祭は5月に鳥飼上地区で2日間、ラブ遊・淀川「わんどクリン作戦」は7月に城北わんどで、それぞれ多数の参加者のもとに行われました。

## テニスコート篇

淀川河川公園のテニスコートは、現在、13の各施設地区に合計55面設置されており、四季を通じて老若男女のテニスファンに利用されています。テニス行事も、豊里地区他3地区では、初心者対象のテニスクールを毎月開講。また、9月と10月には男女それぞれ、「淀川河川公園杯テニス大会」が開催されるなど、充実した内容になっています。



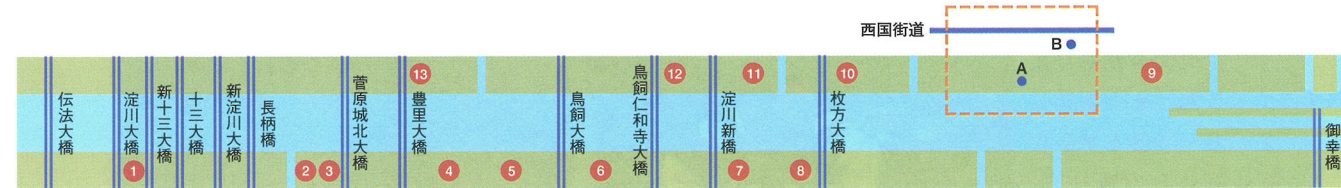
鳥飼上地区のテニスコート

地区名	面数	コートの種類	交通
①海老江地区	3面	ハードコート	阪神電車「野田駅」から徒歩10分、または、大阪市バス・阪神バス「上海老江」から徒歩7分
②毛馬地区	2面	砂入り人工芝コート	大阪市バス「毛馬町2丁目」から徒歩10分(守口車庫行)
③赤川地区	6面	砂入り人工芝コート	大阪市バス「大東町」から徒歩10分(守口車庫行)
④外島地区	6面	ハードコート	地下鉄谷町線「守口」駅から徒歩7分
⑤八雲地区	3面	砂入り人工芝コート	京阪電車・地下鉄谷町線「守口」駅から京阪バス「八番」下車、徒歩5分(八幡経由寝屋川市駅、佐太西二番行)
⑥佐太西地区	3面	砂入り人工芝コート	京阪電車「寝屋川市」駅、または、「守口市」駅からバス「仁和寺団地前」下車、徒歩5分
⑦木屋元町地区	3面	砂入り人工芝コート	京阪電車「寝屋川市」駅からバス「太間公園」下車、徒歩5分
⑧三矢地区	4面	ハードコート	京阪電車「枚方公園」駅から徒歩10分
⑨島本地区	3面	ハードコート	阪急電車「大山崎」駅から徒歩10分、または、阪急電車「水無瀬」駅からバス「島本」下車徒歩5分
⑩大塚地区	4面	ハードコート	京阪電車「枚方市」駅または阪急電車「高槻市」駅から京阪バス「枚方大橋北詰」下車徒歩7分
⑪三島江地区	4面	ハードコート	阪急電車「茨木市」駅からバス「三島江南口」下車、徒歩10分
⑫鳥飼上地区	10面	3面砂入り人工芝コート 7面ハードコート	JR「千里丘」駅・「吹田」からバス「中鳥飼」下車、徒歩10分
⑬豊里地区	4面	ハードコート	大阪市バス「豊里」から徒歩5分

### お問い合わせ・お申込みは

\*受付時間/9:00～12:00 13:00～16:30  
\*休日/毎週月曜日および年末年始(12/29～1/4)

①～⑥、⑬の地区	守口サービスセンター	〒570守口市外島町4-18 TEL06-993-0684
⑦⑧の地区	太間サービスセンター	〒572寝屋川市太間町7-31 TEL0720-38-0888
⑨～⑫の地区	鳥飼サービスセンター	〒566摂津市鳥飼下1-8-1 TEL0726-54-9800



### 【10月1日(水)～31日(金)】

- マナーアップ強化月間(淀川全川及び沿川)

### 【10月1日(水)～31日(金)】

- 都市緑化月間

### 【10月4日(土)・5日(日)】

- 秋の緑化祭・植木市(守口地区)

### 【10月13日(月)】

- 第4回淀川河川公園杯女子テニス大会(鳥飼上地区)

### 【10月15日(水)】

- 第10回淀川河川公園ゲートボール大会(仁和寺野草地区)

### 【10月26日(日)】

- 第29回淀川河川公園仁和寺パター競技会(仁和寺野草地区)

### 【11月9日(日)】

- 第54回淀川の自然を楽しむ会(枚方地区)

### 【11月16日(日)】

- 「LOVE遊-淀川」(枚方地区)

### 【2月22日(日)】

- 第55回淀川の自然を楽しむ会(背割堤地区)

### 【2月(予定)】

- 第3回淀川リレーマラソン(太間地区・予定)

### 【2月(予定)】

- 第3回淀川河川公園凧あげ大会(太間地区)

## 淀川歴史散歩 第②回

### ■鶴殿のヨシ原

鶴殿のヨシ原は、淀川河口から約30～32kmの右岸に広がる約60ヘクタールのヨシの大平原のことで、大塚地区と上流の島本地区の間の自然地区にあります。古くは「鶴殿の葭原」として歌にも詠まれ、また、谷崎潤一郎の文学作品「蘆刈」などの舞台としても有名。地元で鶴殿の葭焼は、水辺に生えるアシが「悪し」につながるとして「良し」と言い換えたと伝えられています。日よけのヨシズは道鶴町の特産で、昔から雅楽楽器の笙シチリキも鶴殿の葭を使用。淀川の冬の風物詩、鶴殿の葭焼きもよく知られています。



鶴殿の葭焼

### ■西国街道

西国街道は、大阪を通らず京都と西国を結ぶ近道として、平安時代から多くの人に親しまれてきた脇往還の街道でした。近世には山崎通り・山崎道あるいは中国街道と呼ばれ、京都から伏見→山崎を経て摂津国に入り、芥川(高槻市)→郡山(茨木市)→瀬川・半町(箕面市)→昆陽(伊丹市)を通過し西宮から西国に通じる約16里の道程でした。江戸時代、参勤交代で西国の大名がしばしば利用したため、いつしか西国街道の名がつき街道沿いの宿駅は大変賑わったということです。名神高速道路の茨木ICの西にある史

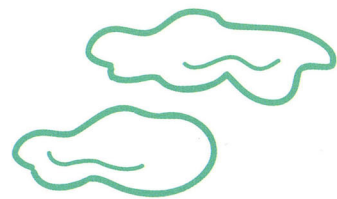
## 鶴殿のヨシ原とその周辺

跡、椿の本陣もそのひとつです。

### ■三好達治記念館

阪急電車の上牧駅から南へ、鶴殿に向かう途中に、四季派の詩人三好達治の墓と記念館が建つ本澄寺があります。本澄寺は、文明3年に創建された由緒ある寺で、三好達治の末弟竜紳さんが住職。その縁から、昭和51年に境内の一隅に達治記念館を造り、墓を建てたということです。三好達治は大阪生まれで、大正初期に梶井基次郎らの同人誌に参加。また昭和初頭には、詩の革新運動「詩と詩論」の近代主義派から離れ、詩を日本の伝統の流れに沿って見直し、知性と感性の融合をめざす「四季」を丸井薫・立原道造らと作りました。記：滝本明

# 淀川・河川公園と私



昭和22年生まれ、経営コンサルタントとして、さまざまな分野の商品開発やマーケティング・プロジェクトを手がける。膝を痛めてしまったこと、また、仕事が忙しくなったため、ラグビーは引退。子供達の指導を後輩にゆずり、観戦を楽しむ。

満州から引き揚げてきた両親は、私を産んでもなく、枚方の伊加賀という古い商店街に移り住みました。枚方の宿とくらわんか舟で栄えた町です。淀川は、歩いて5分とかからないところなので、当然ながら、私たち子供にとっては、河川敷が一番の遊び場所でした。葦の茂みで隠れん坊をしたり、河原の砂地で野球をしたり、時々、わんどでもろこを釣ったり、本流の流れを眺めて時を過ごしたり、それで知らず知らずのうちに、身体が鍛えられたり、自然というものを感じ取ったりしてきたように思います。堤防づたいに、かなり遠いところまで出かけて探検するという事もありました。淀川は、そんな慣れ親しんだ場所でもありましたが、台風が来ると、恐ろしい光景に一変します。台風が去った後には、堤防の際まで増水し、激しく、また荒々しく流れる淀川を眺めに行ったものです。この流れが堤防を越え、街を一飲みにしてしまうのではないかと

私たちが脅えさせました。夏になると花火大会がありました。また堤防に沿った昔ながらの家並みの通りで、縁日も開かれました。浪人時代には、淀川の堤防を歩いて、毎日、図書館に

通ったものです。京都には銀閣寺から、南禅寺にかけて、哲学の道がありますが、大袈裟に言えば、淀川の堤は、私にとって、青春の思索の道でもありました。しかし、そうこうするうちに、社会人になって、気がつくと、淀川は、めったに訪れない場所になってしまっていました。人間の縁というもの不思議なものです。30代から、40代の前半の10年あまりを、再びラグビーで、淀川の河川公園と親しむようになったのですから。それも思いもよらないきっかけからでした。たまたま、高校のラグビー部の

## 河川公園で育つ



## 大西宏

後輩たちが家に遊びにきたときに、木屋元町地区の公園にグラウンドがあるらしいという話題になり、出かけてみると、そこでラグビーをしているチームがありました。そのなかに高校の先輩がいたわけです。誘われるままに、結局は、30代から40代の前半にかけたほぼ10年余り、毎日曜日に、コーチとして河川敷で子供たちにラグビーを教え、その後に、自分たちも練習や試合をするということをしてきました。それこそ朝から昼過ぎまでですから、日曜日はラグビー漬けだったといえます。私だけではなく、子供のいるコーチは、みんな家族ぐるみでした。子供たちは、冬の凍てつくような風が吹く日も、夏のさなかも、グラウンドに集まってきては、元気良く走り回り、ぶつかり合い、倒し、倒され、汗と土まみれになって、ラグビーを学んでくれました。進るような子供たちのエネルギーを受け止めるのは、本当に大変で、教えるとい

うよりも、肉体的にも精神的にも子供たちと格闘していたといっても過言ではありません。今思うと、きっと子供たちは、ラグビーだけでなく、ある時は厳しく、ある時はやさしい河川公園の自然も身体で学び取ってきたと思

います。いつか大きくなったときに、ラグビーでがんばったことや、河川公園の光景や風が懐かしく浮かんでくるに違いありません。自慢になってしまっていますが、このラグビー・スクールから巣立った子供たちから、高校で、大学で、また社会人で大活躍している選手が生まれています。きっと河川公園のラグビー場は、今なお子供たちを育て、これからも育てつづけてくれるのでしょう。

